

15年以上20年未満 * その他

項目		(I) C 卒後年数	(J) C 卒後年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	15年以上 20年未満	5年未満	.406*	.001
	a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない			.309*	.027
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.655*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.845*	.000
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	15年以上 20年未満	5年以上 10年未満	.234*	.004
阻害	b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい			.221*	.022
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.380*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.566*	.000
参加	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	15年以上 20年未満	10年以上 15年未満	.262*	.013

20年以上25年未満 * その他

項目		(I) C 卒後年数	(J) C 卒後年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	20年以上 25年未満	5年未満	.314*	.042
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.855*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			1.014*	.000
促進	b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	20年以上 25年未満	5年以上 10年未満	.219*	.047
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.580*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.735*	.000
	63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる			.309*	.007
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	20年以上 25年未満	10年以上 15年未満	.422*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.431*	.000

25年以上30年未満 * その他

項目		(I) C 卒後年数	(J) C 卒後年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	25年以上 30年未満	5年未満	.398*	.005
	a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある			.355*	.010
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.849*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			1.175*	.000
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	25年以上 30年未満	5年以上 10年未満	.226*	.036
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.574*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.896*	.000
	63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる			.351*	.004
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	25年以上 30年未満	10年以上 15年未満	.416*	.002
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.592*	.000
参加	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	25年以上 30年未満	15年以上 20年未満	.330*	.005

30年以上 * その他

項目		(I) C 卒後年数	(J) C 卒後年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	30年以上	10年以上 15年未満	.486*	.001
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.598*	.000
参加	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	30年以上	15年以上 20年未満	.336*	.019

資料 8

a 促進要因

属性	度数	平均値	偏標差率	最小値	最大値	最頻値	属性	度数	平均値	偏標差率	最小値	最大値	最頻値
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児科	638	3.434	0.570	1	4	a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	小児科	637	3.086	0.591	1	4
	小児専門の診療科	122	3.492	0.606	2	4		小児専門の診療科	123	3.114	0.576	2	4
	その他の診療科	26	3.115	0.516	2	4		その他の診療科	25	2.840	0.374	2	3
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	小児科	613	3.502	0.538	1	4	a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	小児科	636	3.003	0.499	1	4
	小児専門の診療科	117	3.333	0.557	2	4		小児専門の診療科	122	2.951	0.558	1	4
	その他の診療科	26	3.308	0.549	2	4		その他の診療科	24	2.875	0.338	2	3
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	小児科	637	3.524	0.524	1	4	a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	小児科	636	3.171	0.625	1	4
	小児専門の診療科	123	3.407	0.556	2	4		小児専門の診療科	123	3.244	0.577	2	4
	その他の診療科	26	3.115	0.431	2	4		その他の診療科	26	3.000	0.566	2	4
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	小児科	633	3.408	0.517	1	4	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	小児科	634	3.235	0.556	2	4
	小児専門の診療科	123	3.333	0.507	2	4		小児専門の診療科	123	3.033	0.626	2	4
	その他の診療科	26	3.192	0.491	2	4		その他の診療科	26	2.923	0.484	2	4
a09 オフラベル（適応外使用）問題を解決することが望ましい	小児科	638	3.486	0.525	2	4	a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	小児科	636	3.335	0.526	2	4
	小児専門の診療科	123	3.407	0.510	2	4		小児専門の診療科	122	3.238	0.482	2	4
	その他の診療科	25	3.120	0.440	2	4		その他の診療科	25	3.120	0.440	2	4
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	小児科	630	2.665	0.707	1	4	a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	小児科	622	3.013	0.523	2	4
	小児専門の診療科	118	2.610	0.740	1	4		小児専門の診療科	120	2.925	0.596	2	4
	その他の診療科	25	2.520	0.770	1	4		その他の診療科	25	2.800	0.408	2	3
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	小児科	635	3.520	0.522	2	4	a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	小児科	637	3.341	0.506	2	4
	小児専門の診療科	122	3.426	0.529	2	4		小児専門の診療科	123	3.236	0.480	2	4
	その他の診療科	26	3.154	0.613	2	4		その他の診療科	25	3.040	0.351	2	4
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	小児科	635	3.060	0.529	1	4	a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	小児科	631	3.100	0.511	1	4
	小児専門の診療科	119	2.975	0.603	1	4		小児専門の診療科	122	2.918	0.569	1	4
	その他の診療科	23	2.783	0.422	2	3		その他の診療科	25	2.920	0.493	2	4
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	小児科	638	3.409	0.502	2	4	a37 小児医療の質を向上させなければならない	小児科	636	3.475	0.518	1	4
	小児専門の診療科	123	3.366	0.484	3	4		小児専門の診療科	123	3.415	0.495	3	4
	その他の診療科	26	3.346	0.485	3	4		その他の診療科	26	3.231	0.430	3	4
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	小児科	637	3.132	0.515	2	4	a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	小児科	631	3.003	0.563	1	4
	小児専門の診療科	122	3.016	0.575	1	4		小児専門の診療科	122	2.787	0.671	1	4
	その他の診療科	25	3.120	0.526	2	4		その他の診療科	25	2.880	0.440	2	4

b 阻害要因

属性	度数	平均値	偏標差率	最小値	最大値	最頻値	属性	度数	平均値	偏標差率	最小値	最大値	最頻値
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	小児科	636	2.838	0.755	1	4	b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	小児科	630	2.357	0.677	1	4
	小児専門の診療科	122	2.746	0.699	1	4		小児専門の診療科	122	2.426	0.715	1	4
	その他の診療科	26	2.962	0.774	1	4		その他の診療科	23	2.652	0.647	2	4
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	小児科	635	3.219	0.653	1	4	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	小児科	633	2.371	0.684	1	4
	小児専門の診療科	123	3.146	0.686	2	4		小児専門の診療科	121	2.421	0.616	1	4
	その他の診療科	26	2.923	0.796	2	4		その他の診療科	25	2.400	0.764	1	4
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	小児科	637	2.736	0.713	1	4	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	小児科	635	2.298	0.614	1	4
	小児専門の診療科	123	2.789	0.727	1	4		小児専門の診療科	121	2.264	0.574	1	4
	その他の診療科	26	2.731	0.724	2	4		その他の診療科	24	2.458	0.588	1	3
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	小児科	635	3.134	0.659	1	4	b28 有害事象時の対応が可能か不安である	小児科	634	2.729	0.625	1	4
	小児専門の診療科	123	3.154	0.690	1	4		小児専門の診療科	123	2.756	0.605	1	4
	その他の診療科	26	3.154	0.675	2	4		その他の診療科	25	2.920	0.493	2	4
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	小児科	630	2.405	0.602	1	4	b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	小児科	631	2.130	0.557	1	4
	小児専門の診療科	121	2.380	0.662	1	4		小児専門の診療科	120	2.125	0.559	1	4
	その他の診療科	25	2.640	0.700	2	4		その他の診療科	24	2.250	0.532	1	3
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	小児科	635	3.265	0.588	1	4	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	小児科	634	2.588	0.655	1	4
	小児専門の診療科	122	3.320	0.579	2	4		小児専門の診療科	121	2.661	0.627	1	4
	その他の診療科	26	3.154	0.675	1	4		その他の診療科	24	2.833	0.482	2	4
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	小児科	635	2.899	0.683	1	4	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	小児科	629	2.199	0.584	1	4
	小児専門の診療科	123	2.943	0.644	2	4		小児専門の診療科	121	2.240	0.548	1	4
	その他の診療科	25	2.920	0.640	2	4		その他の診療科	24	2.333	0.482	2	3
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	小児科	632	2.815	0.641	1	4	b36 子どもを対象として治験を行うことがためらわれる	小児科	633	2.070	0.575	1	4
	小児専門の診療科	122	2.770	0.690	1	4		小児専門の診療科	122	2.082	0.583	1	3
	その他の診療科	25	2.880	0.600	2	4		その他の診療科	24	2.292	0.464	2	3
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	小児科	634	2.809	0.709	1	4	b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	小児科	632	2.494	0.673	1	4
	小児専門の診療科	122	2.828	0.677	1	4		小児専門の診療科	121	2.529	0.708	1	4
	その他の診療科	25	2.760	0.723	2	4		その他の診療科	26	2.577	0.504	2	3
b20 小児治験に対して興味や関心がない	小児科	634	1.778	0.581	1	4	b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	小児科	625	2.523	0.620	1	4
	小児専門の診療科	123	1.878	0.552	1	3		小児専門の診療科	121	2.587	0.641	1	4
	その他の診療科	25	1.960	0.611	1	3		その他の診療科	25	2.640	0.569	1	3

c 課題要因

属性	度数	平均値	偏標差率	最小値	最大値	最頻値	属性	度数	平均値	偏標差率	最小値	最大値	最頻値
----	----	-----	------	-----	-----	-----	----	----	-----	------	-----	-----	-----

c41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	小児科	632	3.021	0.472	1	4	c51 行政的な小児治療支援システムが構築される必要がある	小児科	632	3.347	0.533	1	4
	小児専門の診療科	122	2.967	0.513	2	4		小児専門の診療科	123	3.317	0.517	2	4
	その他の診療科	26	3.000	0.283	2	4		その他の診療科	23	3.087	0.515	2	4
	合計	780	3.012	0.474	1	4		合計	778	3.334	0.531	1	4
c42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	小児科	636	3.379	0.511	1	4	c52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児科	633	3.425	0.523	1	4
	小児専門の診療科	123	3.374	0.486	3	4		小児専門の診療科	123	3.415	0.511	2	4
	その他の診療科	26	3.269	0.452	3	4		その他の診療科	26	3.269	0.452	3	4
	合計	785	3.375	0.505	1	4		合計	782	3.418	0.519	1	4
c43 専門性の高い小児治療コーディネーターを育成する必要がある	小児科	635	3.375	0.537	1	4	c53 有害事象発生時の支援体制があると良い	小児科	635	3.479	0.519	2	4
	小児専門の診療科	123	3.341	0.541	1	4		小児専門の診療科	122	3.434	0.514	2	4
	その他の診療科	25	3.120	0.526	2	4		その他の診療科	26	3.308	0.471	3	4
	合計	783	3.361	0.538	1	4		合計	783	3.466	0.517	2	4
c44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児科	635	3.398	0.518	1	4	c54 小児治療コーディネーターが病院内に常駐できると良い	小児科	633	3.319	0.633	1	4
	小児専門の診療科	123	3.358	0.498	2	4		小児専門の診療科	123	3.228	0.711	1	4
	その他の診療科	26	3.115	0.516	2	4		その他の診療科	24	2.958	0.624	1	4
	合計	784	3.383	0.517	1	4		合計	780	3.294	0.649	1	4
c45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	小児科	634	3.087	0.574	1	4	c55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	小児科	631	3.228	0.559	1	4
	小児専門の診療科	122	3.025	0.567	1	4		小児専門の診療科	123	3.089	0.653	1	4
	その他の診療科	25	2.960	0.455	2	4		その他の診療科	25	2.840	0.554	2	4
	合計	781	3.073	0.569	1	4		合計	779	3.194	0.580	1	4
c46 「実験台にされる」という小児治療に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	小児科	636	3.263	0.560	1	4	c56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	小児科	631	3.285	0.594	2	4
	小児専門の診療科	123	3.293	0.539	2	4		小児専門の診療科	123	3.309	0.498	2	4
	その他の診療科	26	3.154	0.368	3	4		その他の診療科	26	3.192	0.491	2	4
	合計	785	3.264	0.551	1	4		合計	780	3.286	0.577	2	4
c47 小児治療への認識を高めるために情報公開をする必要がある	小児科	636	3.316	0.514	1	4	c57 小児治療の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	小児科	635	3.397	0.521	2	4
	小児専門の診療科	122	3.311	0.562	2	4		小児専門の診療科	123	3.366	0.516	2	4
	その他の診療科	26	3.000	0.283	2	4		その他の診療科	25	3.040	0.351	2	4
	合計	784	3.305	0.518	1	4		合計	783	3.381	0.519	2	4
c48 小児治療への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児科	634	3.181	0.554	1	4	c58 小児治療に精通した医師を養成する必要がある	小児科	636	3.222	0.564	1	4
	小児専門の診療科	123	3.073	0.515	1	4		小児専門の診療科	123	3.089	0.678	1	4
	その他の診療科	24	3.000	0.511	2	4		その他の診療科	24	2.958	0.359	2	4
	合計	781	3.159	0.548	1	4		合計	783	3.193	0.581	1	4
c49 の現状について社会全体に啓発していく必要がある	小児科	635	3.422	0.525	2	4	c59 小児治療への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児科	633	3.139	0.557	1	4
	小児専門の診療科	123	3.407	0.510	2	4		小児専門の診療科	122	3.082	0.524	1	4
	その他の診療科	25	3.120	0.332	3	4		その他の診療科	25	2.960	0.351	2	4
	合計	783	3.410	0.520	2	4		合計	780	3.124	0.547	1	4
c50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	小児科	624	3.104	0.544	1	4	c60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	小児科	624	3.213	0.514	1	4
	小児専門の診療科	121	3.074	0.608	1	4		小児専門の診療科	122	3.205	0.497	2	4
	その他の診療科	25	2.960	0.351	2	4		その他の診療科	26	3.077	0.484	2	4
	合計	770	3.095	0.549	1	4		合計	772	3.207	0.510	1	4

d 参加要因

属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
d61 現在自分は小児治療に積極的に取り組んでいる	小児科	635	2.217	0.818	1	4
	小児専門の診療科	122	2.025	0.886	1	4
	その他の診療科	25	1.600	0.577	1	3
d62 自分には小児治療に取り組むための知識・技能がある	小児科	632	2.280	0.753	1	4
	小児専門の診療科	122	2.230	0.736	1	4
	その他の診療科	25	1.880	0.781	1	3
d63 現在自分は小児治療に積極的に取り組むことのできる環境にいる	小児科	635	2.677	0.716	1	4
	小児専門の診療科	122	2.607	0.756	1	4
	その他の診療科	25	2.200	0.866	1	3
d64 今後自分は小児治療に積極的に取り組んでいきたい	小児科	629	2.816	0.606	1	4
	小児専門の診療科	121	2.661	0.653	1	4
	その他の診療科	24	2.292	0.690	1	3

a 促進要因

設問項目	グループ	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率	設問項目	グループ	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	グループ間	3.045	2	1.523	4.623	0.010	a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	グループ間	1.600	2	0.800	2.352	0.096
	グループ内	257.881	783	0.329				グループ内	266.018	782	0.340		
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	グループ間	3.515	2	1.758	5.995	0.003	a23 小児治療に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	グループ間	614	2	0.307	1.205	0.300
	グループ内	220.785	753	0.293				グループ内	198.324	779	0.255		
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	グループ間	5.253	2	2.626	9.468	0.000	a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	グループ間	1.385	2	0.693	1.824	0.162
	グループ内	217.201	783	0.277				グループ内	297.002	782	0.380		
a07 小児治療によって得られるデータは有用である	グループ間	1.606	2	0.803	3.033	0.049	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	グループ間	6.181	2	3.091	9.654	0.000
	グループ内	206.215	779	0.265				グループ内	249.699	780	0.320		
a09 オフラベル（適応外使用）問題を解決することが望ましい	グループ間	3.667	2	1.834	6.782	0.001	a29 根拠に基づいた科学的な医療が行われなければならない	グループ間	1.928	2	0.964	3.608	0.028
	グループ内	211.688	783	0.270				グループ内	208.412	780	0.267		
a11 小児治療に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	グループ間	.750	2	0.375	0.735	0.480	a31 新薬を使用することは患者への貢献となる	グループ間	1.731	2	0.865	3.058	0.048
	グループ内	392.640	770	0.510				グループ内	216.222	764	0.283		
a13 未承認薬でも必要とする患者がいるため使用せざるを得ない	グループ間	3.987	2	1.993	7.207	0.001	a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	グループ間	3.082	2	1.541	6.205	0.002
	グループ内	215.725	780	0.277				グループ内	194.200	782	0.248		
a15 小児治療への参加は小児科医として必要である	グループ間	2.278	2	1.139	3.926	0.020	a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	グループ間	3.927	2	1.963	7.255	0.001
	グループ内	224.563	774	0.290				グループ内	209.730	775	0.271		
a17 小児用医薬品の安全性の確保が必要である	グループ間	.271	2	0.136	0.547	0.579	a37 小児医療の質を向上させなければならない	グループ間	1.754	2	0.877	3.344	0.036
	グループ内	194.648	784	0.248				グループ内	205.067	782	0.262		
a19 小児治療に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	グループ間	1.366	2	0.683	2.476	0.085	a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	グループ間	4.970	2	2.485	7.434	0.001
	グループ内	215.530	781	0.276				グループ内	259.093	775	0.334		

b 阻害要因

設問項目	グループ	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率	設問項目	グループ	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
b02 小児治療は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	グループ間	1.350	2	0.675	1.208	0.299	b22 小児治療の参加について患者の理解と同意を得ることができない	グループ間	2.286	2	1.143	2.453	0.087
	グループ内	436.404	781	0.559				グループ内	359.696	772	0.466		
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	グループ間	2.571	2	1.285	2.920	0.065	b24 小児治療に関する作業内容がわからない	グループ間	.267	2	0.133	0.291	0.747
	グループ内	343.785	781	0.440				グループ内	355.261	776	0.458		
b06 日常の診療業務に追われていて小児治療に参加する時間的余裕がない	グループ間	.287	2	0.144	0.280	0.756	b26 小児治療の参加について患者の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間	.753	2	0.376	1.022	0.360
	グループ内	401.312	783	0.513				グループ内	286.242	777	0.368		
b08 小児治療の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	グループ間	.051	2	0.025	0.057	0.944	b28 有害事象時の対応が可能か不安である	グループ間	.922	2	0.461	1.206	0.300
	グループ内	345.072	781	0.442				グループ内	297.860	779	0.382		
b10 小児治療よりも他の研究のために時間を費やしたい	グループ間	1.446	2	0.723	1.913	0.148	b30 小児治療の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	グループ間	.342	2	0.171	0.553	0.576
	グループ内	292.058	773	0.378				グループ内	238.969	772	0.310		
b12 小児治療での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	グループ間	.670	2	0.335	0.963	0.382	b32 小児治療の実施について詳細を知る機会がない	グループ間	1.805	2	0.903	2.162	0.116
	グループ内	271.470	780	0.348				グループ内	323.994	776	0.418		
b14 小児治療について患者へ説明することが難しい	グループ間	.203	2	0.101	0.222	0.801	b34 小児治療の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間	.551	2	0.276	0.831	0.436
	グループ内	355.991	780	0.456				グループ内	255.542	771	0.331		
b16 小児治療は責任が重大であり負担である	グループ間	.328	2	0.164	0.391	0.677	b36 子どもを対象として治療を行うことがためられる	グループ間	1.143	2	0.572	1.739	0.176
	グループ内	325.554	776	0.420				グループ内	255.080	776	0.329		
b18 小児治療について保護者へ説明することが難しい	グループ間	.102	2	0.051	0.103	0.903	b38 小児治療に参加しようとする患者や保護者は少ない	グループ間	.278	2	0.139	0.305	0.737
	グループ内	385.852	778	0.496				グループ内	352.470	776	0.454		
b20 小児治療に対して興味や関心がない	グループ間	1.707	2	0.853	2.559	0.078	b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	グループ間	.684	2	0.342	0.884	0.413
	グループ内	259.773	779	0.333				グループ内	297.012	768	0.387		

c 課題要因

課題	グループ間	平方和	自由度	平均平方	F値	有意確率	課題	グループ間	平方和	自由度	平均平方	F値	有意確率
c41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	グループ間	295	2	0.147	0.656	0.519	c51 行政的な小児治療支援システムが構築される必要がある	グループ間	1,538	2	0.769	2.739	0.065
	グループ内	174,601	777	0.225				グループ内	217,573	775	0.281		
c42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	グループ間	301	2	0.150	0.589	0.555	c52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間	607	2	0.304	1.129	0.324
	グループ内	199,590	782	0.255				グループ内	209,655	779	0.269		
c43 専門性の高い小児治療コーディネーターを育成する必要がある	グループ間	1,620	2	0.810	2.806	0.061	c53 有害事象発生時の支援体制があると良い	グループ間	876	2	0.438	1.643	0.194
	グループ内	225,095	780	0.289				グループ内	207,977	780	0.267		
c44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間	2,092	2	1.046	3.944	0.020	c54 小児治療コーディネーターが病院内に常駐できると良い	グループ間	3,645	2	1.822	4.369	0.013
	グループ内	207,112	781	0.265				グループ内	324,123	777	0.417		
c45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	グループ間	725	2	0.363	1.119	0.327	c55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	グループ間	5,216	2	2.608	7.890	0.000
	グループ内	252,115	778	0.324				グループ内	256,514	776	0.331		
c46 「実験台にされる」という小児治療に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	グループ間	418	2	0.209	0.687	0.504	c56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	グループ間	293	2	0.147	0.440	0.644
	グループ内	237,997	782	0.304				グループ内	258,952	777	0.333		
c47 小児治療への認識を高めるために情報公開をする必要がある	グループ間	2,501	2	1.251	4.704	0.009	c57 小児治療の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間	3,095	2	1.547	5.817	0.003
	グループ内	207,640	781	0.266				グループ内	207,490	780	0.266		
c48 小児治療への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間	1,831	2	0.915	3.063	0.047	c58 小児治療に精通した医師を養成する必要がある	グループ間	3,165	2	1.582	4.734	0.009
	グループ内	232,482	778	0.299				グループ内	260,715	780	0.334		
c49 の現状について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間	2,196	2	1.098	4.094	0.017	c59 小児治療への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間	1,031	2	0.515	1.727	0.179
	グループ内	209,206	780	0.268				グループ内	231,907	777	0.298		
c50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間	559	2	0.280	0.927	0.396	c60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間	464	2	0.232	0.890	0.411
	グループ内	231,520	767	0.302				グループ内	200,375	769	0.261		

d 参加要因

課題	グループ間	平方和	自由度	平均平方	F値	有意確率
d61 現在自分は小児治療に積極的に取り組んでいる	グループ間	12,119	2	6,060	8.958	0.000
	グループ内	526,936	779	0.676		
	合計	539,055	781			
d62 自分には小児治療に取り組むための知識・技能がある	グループ間	3,977	2	1,989	3.526	0.030
	グループ内	437,643	776	0.564		
	合計	441,620	778			
d63 現在自分は小児治療に積極的に取り組むことのできる環境にいる	グループ間	5,761	2	2,880	5.447	0.004
	グループ内	411,934	779	0.529		
	合計	417,694	781			
d64 今後自分は小児治療に積極的に取り組んでいきたい	グループ間	8,211	2	4,105	10.815	0.000
	グループ内	292,673	771	0.380		
	合計	300,884	773			

<所属診療科別> 小児治験の実施に対する意識得点の差 (多重比較)

小児科 * 小児専門の診療科

項目		(I) D 所属 診療科	(J) D 所属 診療科	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	小児科	小児専門 の診療科	.169*	.006
	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる			.202*	.001
	a35 有効な治療薬の開発に寄与したい			.182*	.001
	a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい			.216*	.000
課題	55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である			.139*	.039
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.193*	.047
	64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	.154*	.032		

小児科 * その他の診療科

項目		(I) D 所属 診療科	(J) D 所属 診療科	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児科	その他の 診療科	.319*	.016
	a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある			.409*	.000
	a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい			.366*	.002
	a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない			.366*	.002
	a15 小児治験への参加は小児科医として必要である			.277*	.041
	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる			.312*	.017
	a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない			.301*	.009
	a37 小児医療の質を向上させなければならない			.244*	.046
課題	44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある			.283*	.017
	47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある			.316*	.006
	49 の現状について社会全体に啓発していく必要がある			.302*	.012
	54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い			.361*	.020
	55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である			.388*	.003
	57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある			.357*	.002
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.617*	.001
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.400*	.025
	63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	.477*	.004		
	64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	.524*	.000		

小児専門の診療科 * その他の診療科

項目		(I) D 所属 診療科	(J) D 所属 診療科	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児専門 の診療科	その他の 診療科	.376 [*]	.007
	a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある			.291 [*]	.029
	a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい			.287 [*]	.033
	a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない			.272 [*]	.044
課題	47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある			.311 [*]	.015
	49 の現状について社会全体に啓発していく必要がある			.287 [*]	.032
	57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある			.326 [*]	.011
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.425 [*]	.050
	63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる			.407 [*]	.030
	64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい			.369 [*]	.020

資料 9

a 促進要因

		度数	平均値	偏標差	最小値	最大値	最頻値			度数	平均値	偏標差	最小値	最大値	最頻値
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児内科	438	3.39	.578	2	4		a07 小児治療によって得られるデータは有用である	小児内科	434	3.38	.519	1	4	
	神経内科	19	3.74	.452	3	4			神経内科	19	3.58	.507	3	4	
	循環器科	33	3.55	.666	1	4			循環器科	33	3.42	.561	2	4	
	麻酔科	16	3.38	.619	2	4			麻酔科	16	3.25	.447	3	4	
	血液・腫瘍科	63	3.60	.493	3	4			血液・腫瘍科	63	3.44	.501	3	4	
	未熟児・新生児科	71	3.52	.531	2	4			未熟児・新生児科	71	3.38	.517	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.63	.490	3	4			腎臓・泌尿器科	34	3.53	.507	3	4	
	精神・心療内科	12	3.42	.669	2	4			精神・心療内科	12	3.33	.492	3	4	
	内分泌・代謝科	10	3.40	.516	3	4			内分泌・代謝科	10	3.20	.422	3	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.24	.562	2	4			アレルギー・感染症科	17	3.47	.514	3	4	
	産婦人科	2	3.50	.707	3	4			産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	3.37	.761	2	4			小児外科	19	3.26	.562	2	4	
	整形外科	8	3.13	.354	3	4			整形外科	9	3.22	.441	3	4	
	心臓外科	10	3.60	.516	3	4			心臓外科	10	3.60	.516	3	4	
	眼科	5	3.40	.548	3	4			眼科	5	3.40	.548	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	2.75	.500	2	3			耳鼻咽喉科	4	2.75	.500	2	3	
	脳神経外科	8	3.38	.518	3	4			脳神経外科	8	3.25	.463	3	4	
	形成外科	5	3.00	.707	2	4			形成外科	5	3.40	.548	3	4	
	歯科	2	4.00	.000	4	4			歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4	
無回答	6	3.67	.516	3	4		無回答	6	3.67	.516	3	4			
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	小児内科	420	3.47	.532	1	4		a09 オフラベル（適応外使用）問題を解決することが望ましい	小児内科	438	3.48	.514	2	4	
	神経内科	16	3.69	.479	3	4			神経内科	19	3.58	.607	2	4	
	循環器科	31	3.35	.709	1	4			循環器科	33	3.45	.564	2	4	
	麻酔科	16	3.19	.544	2	4			麻酔科	15	3.40	.507	3	4	
	血液・腫瘍科	60	3.57	.533	2	4			血液・腫瘍科	63	3.48	.535	2	4	
	未熟児・新生児科	71	3.59	.495	3	4			未熟児・新生児科	71	3.58	.525	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.66	.482	3	4			腎臓・泌尿器科	35	3.54	.505	3	4	
	精神・心療内科	12	3.08	.515	2	4			精神・心療内科	12	3.33	.492	3	4	
	内分泌・代謝科	10	3.30	.483	3	4			内分泌・代謝科	10	3.30	.483	3	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.71	.470	3	4			アレルギー・感染症科	17	3.24	.562	2	4	
	産婦人科	2	3.50	.707	3	4			産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	17	3.35	.606	2	4			小児外科	19	3.26	.452	3	4	
	整形外科	9	3.22	.441	3	4			整形外科	9	3.44	.527	3	4	
	心臓外科	9	3.22	.667	2	4			心臓外科	10	3.30	.675	2	4	
	眼科	5	3.20	.447	3	4			眼科	5	3.20	.447	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4			耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4	
	脳神経外科	6	3.33	.516	3	4			脳神経外科	8	3.13	.641	2	4	
	形成外科	5	2.80	.447	2	3			形成外科	5	3.60	.548	3	4	
	歯科	2	4.00	.000	4	4			歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.816	2	4			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3	
無回答	6	3.50	.548	3	4		無回答	6	3.67	.516	3	4			
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	小児内科	437	3.49	.532	1	4		a11 小児治療に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	小児内科	431	2.69	.673	1	4	
	神経内科	19	3.58	.507	3	4			神経内科	18	2.67	.767	1	4	
	循環器科	33	3.48	.566	2	4			循環器科	32	2.41	.756	1	4	
	麻酔科	16	3.31	.479	3	4			麻酔科	16	2.75	.775	1	4	
	血液・腫瘍科	63	3.71	.455	3	4			血液・腫瘍科	61	2.75	.830	1	4	
	未熟児・新生児科	71	3.63	.485	3	4			未熟児・新生児科	70	2.60	.668	1	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.57	.502	3	4			腎臓・泌尿器科	34	2.44	.824	1	4	
	精神・心療内科	12	3.08	.515	2	4			精神・心療内科	12	2.67	.492	2	3	
	内分泌・代謝科	10	3.50	.527	3	4			内分泌・代謝科	10	2.30	.949	1	3	
	アレルギー・感染症科	17	3.35	.493	3	4			アレルギー・感染症科	17	2.65	.996	1	4	
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3			産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	3.32	.478	3	4			小児外科	19	2.89	.459	2	4	
	整形外科	9	3.22	.441	3	4			整形外科	9	2.22	.667	1	3	
	心臓外科	10	3.50	.707	2	4			心臓外科	10	2.60	.843	1	4	
	眼科	5	3.00	.707	2	4			眼科	5	3.00	.707	2	4	
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4			耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4	
	脳神経外科	8	3.25	.463	3	4			脳神経外科	7	2.86	.690	2	4	
	形成外科	5	3.00	.707	2	4			形成外科	5	2.40	1.140	1	4	
	歯科	2	2.50	.707	2	3			歯科	2	2.50	.707	2	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.00	.816	1	3	
無回答	6	3.67	.516	3	4		無回答	6	2.50	.548	2	3			

設問項目	属性	統計値					属性	統計値					
		度数	平均値	標準差	最小値	最大値		度数	平均値	標準差	最小値	最大値	
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	小児内科	435	3.49	.523	2	4	a19 小児治療に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	小児内科	437	3.14	.497	2	4
	神経内科	19	3.74	.452	3	4		神経内科	19	3.42	.507	3	4
	循環器科	33	3.52	.508	3	4		循環器科	33	2.91	.631	1	4
	麻酔科	16	3.19	.544	2	4		麻酔科	16	2.94	.680	1	4
	血液・腫瘍科	63	3.67	.475	3	4		血液・腫瘍科	61	3.20	.477	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.58	.497	3	4		未熟児・新生児科	71	3.14	.593	2	4
	腎臓・泌尿器科	34	3.56	.561	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.11	.583	2	4
	精神・心療内科	12	3.50	.522	3	4		精神・心療内科	12	3.08	.289	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.30	.675	2	4		内分泌・代謝科	10	3.10	.568	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.53	.624	2	4		アレルギー・感染症科	17	3.12	.600	2	4
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3		産婦人科	2	3.00	.000	3	3
	小児外科	19	3.26	.562	2	4		小児外科	19	2.74	.562	1	3
	整形外科	9	3.22	.441	3	4		整形外科	9	3.00	.500	2	4
	心臓外科	10	3.40	.516	3	4		心臓外科	10	3.20	.422	3	4
	眼科	5	3.00	.000	3	3		眼科	5	2.80	.447	2	3
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.957	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	.000	3	3
	脳神経外科	8	3.13	.354	3	4		脳神経外科	8	2.88	.354	2	3
	形成外科	5	3.80	.447	3	4		形成外科	5	3.20	.837	2	4
	歯科	2	3.00	.000	3	3		歯科	2	2.50	.707	2	3
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4
無回答	6	3.50	.548	3	4	無回答	6	2.83	.408	2	3		
a15 小児治療への参加は小児科医として必要である	小児内科	435	3.05	.533	1	4	a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	小児内科	437	3.06	.585	1	4
	神経内科	19	3.21	.535	2	4		神経内科	19	3.32	.671	2	4
	循環器科	33	3.00	.750	1	4		循環器科	33	3.12	.650	1	4
	麻酔科	16	2.81	.403	2	3		麻酔科	16	2.94	.443	2	4
	血液・腫瘍科	62	3.16	.451	2	4		血液・腫瘍科	62	3.02	.528	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.11	.549	1	4		未熟児・新生児科	71	3.21	.607	2	4
	腎臓・泌尿器科	34	3.06	.489	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.40	.604	2	4
	精神・心療内科	12	2.83	.389	2	3		精神・心療内科	12	3.25	.622	2	4
	内分泌・代謝科	10	3.00	.471	2	4		内分泌・代謝科	10	3.10	.568	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.24	.437	3	4		アレルギー・感染症科	17	2.76	.562	2	4
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3		産婦人科	2	3.00	.000	3	3
	小児外科	18	2.89	.676	1	4		小児外科	19	3.00	.577	2	4
	整形外科	9	2.78	.441	2	3		整形外科	9	3.00	.000	3	3
	心臓外科	10	2.80	.632	1	3		心臓外科	10	3.20	.632	2	4
	眼科	5	2.40	.548	2	3		眼科	5	3.00	.707	2	4
	耳鼻咽喉科	3	3.00	1.000	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4
	脳神経外科	5	2.80	.447	2	3		脳神経外科	8	3.00	.000	3	3
	形成外科	5	2.40	.548	2	3		形成外科	5	2.60	.548	2	3
	歯科	2	3.00	.000	3	3		歯科	2	3.00	.000	3	3
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3
無回答	6	3.17	.408	3	4	無回答	6	3.00	.000	3	3		
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	小児内科	438	3.40	.490	3	4	a23 小児治療に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	小児内科	436	3.00	.482	1	4
	神経内科	19	3.42	.607	2	4		神経内科	19	3.16	.602	2	4
	循環器科	33	3.33	.540	2	4		循環器科	32	2.94	.564	2	4
	麻酔科	16	3.25	.447	3	4		麻酔科	16	2.81	.544	2	4
	血液・腫瘍科	63	3.41	.496	3	4		血液・腫瘍科	62	3.02	.496	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.51	.504	3	4		未熟児・新生児科	71	3.07	.593	1	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.43	.558	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.03	.514	2	4
	精神・心療内科	12	3.42	.515	3	4		精神・心療内科	12	3.00	.426	2	4
	内分泌・代謝科	10	3.20	.422	3	4		内分泌・代謝科	10	2.90	.316	2	3
	アレルギー・感染症科	17	3.59	.507	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.00	.612	2	4
	産婦人科	2	3.50	.707	3	4		産婦人科	2	3.00	.000	3	3
	小児外科	19	3.32	.478	3	4		小児外科	19	2.79	.535	2	4
	整形外科	9	3.11	.333	3	4		整形外科	9	2.78	.441	2	3
	心臓外科	10	3.50	.527	3	4		心臓外科	10	2.80	.632	1	3
	眼科	5	3.00	.000	3	3		眼科	5	2.60	.548	2	3
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	.000	3	3
	脳神経外科	8	3.25	.463	3	4		脳神経外科	8	2.88	.354	2	3
	形成外科	5	3.60	.548	3	4		形成外科	5	3.00	.707	2	4
	歯科	2	3.00	.000	3	3		歯科	2	2.50	.707	2	3
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.50	.577	3	4		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3
無回答	6	3.50	.548	3	4	無回答	5	2.80	.447	2	3		

属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値	属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	小児内科	436	3.14	.627	1	4		a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	小児内科	426	3.00	.518	2	4	
	神経内科	19	3.47	.612	2	4			神経内科	18	3.17	.514	2	4	
	循環器科	33	3.30	.529	2	4			循環器科	32	2.97	.474	2	4	
	麻酔科	16	3.06	.574	2	4			麻酔科	15	2.60	.507	2	3	
	血液・腫瘍科	63	3.22	.552	2	4			血液・腫瘍科	61	3.11	.608	2	4	
	未熟児・新生児科	71	3.28	.701	2	4			未熟児・新生児科	71	2.99	.597	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.34	.591	2	4			腎臓・泌尿器科	34	3.12	.537	2	4	
	精神・心療内科	12	3.42	.515	3	4			精神・心療内科	11	2.64	.505	2	3	
	内分泌・代謝科	10	3.00	.667	2	4			内分泌・代謝科	10	3.00	.471	2	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.12	.600	2	4			アレルギー・感染症科	17	3.06	.556	2	4	
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3			産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	3.11	.459	2	4			小児外科	19	2.74	.452	2	3	
	整形外科	9	2.89	.601	2	4			整形外科	9	2.89	.333	2	3	
	心臓外科	10	3.70	.483	3	4			心臓外科	10	3.20	.632	2	4	
	眼科	5	2.80	.837	2	4			眼科	4	2.50	.577	2	3	
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4			耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4	
	脳神経外科	8	3.00	.000	3	3			脳神経外科	8	2.88	.354	2	3	
	形成外科	5	2.80	.837	2	4			形成外科	5	2.60	.548	2	3	
	歯科	2	3.00	.000	3	3			歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3	
無回答	6	3.17	.408	3	4		無回答	6	3.00	.000	3	3			
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	小児内科	435	3.21	.548	2	4		a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	小児内科	437	3.33	.500	2	4	
	神経内科	19	3.37	.496	3	4			神経内科	19	3.37	.496	3	4	
	循環器科	33	3.21	.545	2	4			循環器科	33	3.30	.529	2	4	
	麻酔科	16	2.88	.719	2	4			麻酔科	16	3.31	.479	3	4	
	血液・腫瘍科	63	3.46	.563	2	4			血液・腫瘍科	62	3.35	.546	2	4	
	未熟児・新生児科	70	3.19	.666	2	4			未熟児・新生児科	71	3.35	.510	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.03	.618	2	4			腎臓・泌尿器科	35	3.46	.561	2	4	
	精神・心療内科	12	2.92	.289	2	3			精神・心療内科	12	3.17	.389	3	4	
	内分泌・代謝科	10	3.20	.422	3	4			内分泌・代謝科	10	3.10	.316	3	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.29	.470	3	4			アレルギー・感染症科	17	3.47	.514	3	4	
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3			産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	2.89	.567	2	4			小児外科	19	3.05	.405	2	4	
	整形外科	9	3.11	.333	3	4			整形外科	9	3.00	.000	3	3	
	心臓外科	10	3.40	.699	2	4			心臓外科	10	3.00	.667	2	4	
	眼科	5	2.40	.548	2	3			眼科	5	3.20	.447	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.000	3	3			耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4	
	脳神経外科	8	2.75	.707	2	4			脳神経外科	8	3.25	.463	3	4	
	形成外科	5	2.80	.447	2	3			形成外科	5	3.20	.447	3	4	
	歯科	2	3.00	.000	3	3			歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3	
無回答	6	3.17	.408	3	4		無回答	6	3.00	.000	3	3			
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	小児内科	436	3.34	.516	2	4		a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	小児内科	432	3.06	.487	1	4	
	神経内科	19	3.37	.496	3	4			神経内科	19	3.32	.478	3	4	
	循環器科	33	3.15	.508	2	4			循環器科	33	3.15	.508	2	4	
	麻酔科	15	3.40	.507	3	4			麻酔科	16	2.75	.577	2	4	
	血液・腫瘍科	63	3.35	.544	2	4			血液・腫瘍科	61	3.26	.603	1	4	
	未熟児・新生児科	71	3.32	.580	2	4			未熟児・新生児科	71	3.08	.554	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.43	.502	3	4			腎臓・泌尿器科	35	3.11	.471	2	4	
	精神・心療内科	12	3.17	.389	3	4			精神・心療内科	12	2.67	.492	2	3	
	内分泌・代謝科	10	3.20	.422	3	4			内分泌・代謝科	10	3.10	.568	2	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.41	.618	2	4			アレルギー・感染症科	16	3.25	.577	2	4	
	産婦人科	2	3.50	.707	3	4			産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	3.00	.333	2	4			小児外科	19	2.79	.419	2	3	
	整形外科	9	3.00	.000	3	3			整形外科	9	2.56	.726	1	3	
	心臓外科	10	3.10	.316	3	4			心臓外科	10	2.80	.632	1	3	
	眼科	4	3.25	.500	3	4			眼科	5	2.40	.548	2	3	
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4			耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4	
	脳神経外科	8	3.00	.535	2	4			脳神経外科	8	3.13	.354	3	4	
	形成外科	5	3.40	.548	3	4			形成外科	5	2.80	.837	2	4	
	歯科	2	3.50	.707	3	4			歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4	
無回答	6	3.17	.408	3	4		無回答	6	3.00	.000	3	3			

属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値	属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
a37 小児医療の質を向上させなければならぬ	小児内科	436	3.46	.517	1	4		a39 新薬の開発に関する研究に貢献してきたい	小児内科	432	2.98	.549	2	4	
	神経内科	19	3.63	.496	3	4			神経内科	19	3.26	.452	3	4	
	循環器科	33	3.30	.585	2	4			循環器科	33	3.03	.637	1	4	
	麻酔科	16	3.44	.512	3	4			麻酔科	16	2.63	.619	1	3	
	血液・腫瘍科	63	3.62	.490	3	4			血液・腫瘍科	62	3.10	.620	1	4	
	未熟児・新生児科	71	3.44	.499	3	4			未熟児・新生児科	71	2.97	.585	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.57	.502	3	4			腎臓・泌尿器科	35	3.00	.642	2	4	
	精神・心療内科	12	3.42	.515	3	4			精神・心療内科	12	2.50	.674	1	3	
	内分泌・代謝科	10	3.50	.527	3	4			内分泌・代謝科	10	3.10	.568	2	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.47	.514	3	4			アレルギー・感染症科	16	3.19	.544	2	4	
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3			産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	3.37	.496	3	4			小児外科	19	2.68	.478	2	3	
	整形外科	9	3.22	.441	3	4			整形外科	9	2.44	.726	1	3	
	心臓外科	10	3.50	.527	3	4			心臓外科	10	2.70	.675	1	3	
	眼科	5	3.20	.447	3	4			眼科	5	2.40	.548	2	3	
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4			耳鼻咽喉科	4	2.50	1.000	1	3	
	脳神経外科	8	3.25	.463	3	4			脳神経外科	7	3.00	.577	2	4	
	形成外科	5	3.20	.447	3	4			形成外科	5	2.80	.837	2	4	
	歯科	2	3.00	.000	3	3			歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4	
無回答	6	3.17	.408	3	4		無回答	6	3.00	.000	3	3			

b 阻害要因

属性		度数	平均値	偏標準	最小値	最大値	属性		度数	平均値	偏標準	最小値	最大値	最頻値
b02 小児治療は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	小児内科	438	2.82	.742	1	4	b08 小児治療の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	小児内科	435	3.14	.629	2	4	
	神経内科	19	2.63	.895	1	4		神経内科	19	3.26	.653	2	4	
	循環器科	32	2.66	.653	1	4		循環器科	33	3.15	.667	2	4	
	麻酔科	16	3.00	.632	2	4		麻酔科	16	3.25	.856	1	4	
	血液・腫瘍科	62	3.03	.701	1	4		血液・腫瘍科	63	2.95	.682	2	4	
	未熟児・新生児科	71	3.04	.801	1	4		未熟児・新生児科	71	3.14	.761	1	4	
	腎臓・泌尿器科	35	2.77	.877	1	4		腎臓・泌尿器科	35	3.29	.572	2	4	
	精神・心療内科	12	2.50	.674	2	4		精神・心療内科	12	3.25	.622	2	4	
	内分泌・代謝科	10	2.80	.632	2	4		内分泌・代謝科	10	2.60	.699	2	4	
	アレルギー・感染症科	17	2.47	.624	1	3		アレルギー・感染症科	17	3.29	.886	2	4	
	産婦人科	2	3.50	.707	3	4		産婦人科	2	2.00	.000	2	2	
	小児外科	19	2.84	.688	2	4		小児外科	19	3.21	.631	2	4	
	整形外科	9	2.67	.707	1	3		整形外科	9	3.56	.726	2	4	
	心臓外科	10	2.90	.568	2	4		心臓外科	10	3.00	.816	2	4	
	眼科	5	2.40	.548	2	3		眼科	5	3.60	.548	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	1.75	.957	1	3		耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4	
	脳神経外科	7	3.14	.378	3	4		脳神経外科	8	3.00	.535	2	4	
	形成外科	5	3.00	.707	2	4		形成外科	5	3.40	.894	2	4	
	歯科	2	2.00	.000	2	2		歯科	2	2.00	.000	2	2	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.816	2	4		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.50	.577	3	4	
無回答	6	2.33	.516	2	3	無回答	6	2.83	.408	2	3			
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	小児内科	435	3.18	.643	2	4	b10 小児治療よりも他の研究のために時間を費やしたい	小児内科	433	2.39	.572	1	4	
	神経内科	19	3.42	.692	2	4		神経内科	19	2.37	.597	2	4	
	循環器科	33	3.36	.489	3	4		循環器科	33	2.33	.692	1	4	
	麻酔科	16	2.69	.704	2	4		麻酔科	16	2.38	.806	1	4	
	血液・腫瘍科	63	3.38	.607	2	4		血液・腫瘍科	61	2.34	.602	1	4	
	未熟児・新生児科	71	3.24	.706	1	4		未熟児・新生児科	70	2.39	.621	1	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.26	.657	2	4		腎臓・泌尿器科	33	2.39	.747	1	4	
	精神・心療内科	12	3.33	.651	2	4		精神・心療内科	12	2.33	.492	2	3	
	内分泌・代謝科	10	2.80	.789	2	4		内分泌・代謝科	10	2.70	.675	2	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.06	.899	2	4		アレルギー・感染症科	17	2.65	.862	1	4	
	産婦人科	2	3.00	1.414	2	4		産婦人科	2	2.50	.707	2	3	
	小児外科	19	3.32	.582	2	4		小児外科	19	2.42	.607	2	4	
	整形外科	9	3.33	.707	2	4		整形外科	9	2.67	.707	2	4	
	心臓外科	10	2.90	.738	2	4		心臓外科	10	2.50	.707	2	4	
	眼科	5	3.40	.548	3	4		眼科	5	3.00	.707	2	4	
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4	
	脳神経外科	8	3.13	.835	2	4		脳神経外科	7	2.86	.690	2	4	
	形成外科	5	3.00	1.000	2	4		形成外科	5	2.80	.837	2	4	
	歯科	2	3.00	.000	3	3		歯科	2	2.00	.000	2	2	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.50	.577	2	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.50	.577	2	3	
無回答	6	2.83	.753	2	4	無回答	6	2.00	.632	1	3			
b06 日常の診療業務に追われていて小児治療に参加する時間的余裕がない	小児内科	437	2.73	.660	1	4	b12 小児治療での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	小児内科	436	3.23	.573	1	4	
	神経内科	19	2.79	1.032	1	4		神経内科	19	3.68	.478	3	4	
	循環器科	33	2.82	.635	2	4		循環器科	33	3.24	.792	1	4	
	麻酔科	16	2.56	.629	2	4		麻酔科	16	3.50	.516	3	4	
	血液・腫瘍科	63	2.75	.718	1	4		血液・腫瘍科	63	3.33	.622	1	4	
	未熟児・新生児科	71	2.80	.904	1	4		未熟児・新生児科	70	3.39	.572	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	2.83	.785	1	4		腎臓・泌尿器科	35	3.43	.502	3	4	
	精神・心療内科	12	2.92	.669	2	4		精神・心療内科	12	3.08	.515	2	4	
	内分泌・代謝科	10	2.40	.516	2	3		内分泌・代謝科	10	3.10	.316	3	4	
	アレルギー・感染症科	17	2.41	.939	1	4		アレルギー・感染症科	17	3.47	.717	2	4	
	産婦人科	2	2.00	.000	2	2		産婦人科	2	3.50	.707	3	4	
	小児外科	19	3.00	.577	2	4		小児外科	19	3.21	.535	2	4	
	整形外科	9	3.11	.601	2	4		整形外科	9	3.44	.726	2	4	
	心臓外科	10	2.50	.707	2	4		心臓外科	9	2.67	.500	2	3	
	眼科	5	3.60	.548	3	4		眼科	5	3.40	.548	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.957	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4	
	脳神経外科	8	2.75	.707	2	4		脳神経外科	8	3.13	.641	2	4	
	形成外科	5	2.80	1.095	2	4		形成外科	5	3.20	.837	2	4	
	歯科	2	2.00	.000	2	2		歯科	2	2.50	.707	2	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.50	.577	2	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3	
無回答	6	2.33	.516	2	3	無回答	6	3.00	.000	3	3			

属性		度数	平均値	標準差	最小値	最大値	最頻値			属性		度数	平均値	標準差	最小値	最大値	最頻値
b14 小児治療について患児へ説明することが難しい	小児内科	435	2.89	.673	1	4		b20 小児治療に対して興味や関心がない	小児内科	435	1.81	.577	1	4			
	神経内科	19	2.89	.737	1	4			神経内科	19	1.68	.478	1	2			
	循環器科	33	2.91	.765	2	4			循環器科	33	1.79	.650	1	4			
	麻酔科	16	2.81	.655	2	4			麻酔科	16	2.00	.516	1	3			
	血液・腫瘍科	62	2.82	.587	2	4			血液・腫瘍科	62	1.61	.523	1	3			
	未熟児・新生児科	71	3.07	.704	1	4			未熟児・新生児科	70	1.73	.536	1	3			
	腎臓・泌尿器科	35	2.97	.664	2	4			腎臓・泌尿器科	35	1.63	.598	1	3			
	精神・心療内科	12	2.83	.577	2	4			精神・心療内科	12	2.33	.492	2	3			
	内分泌・代謝科	10	2.80	1.033	1	4			内分泌・代謝科	10	1.70	.483	1	2			
	アレルギー・感染症科	17	2.82	.636	2	4			アレルギー・感染症科	17	1.65	.606	1	3			
	産婦人科	2	2.50	.707	2	3			産婦人科	2	1.50	.707	1	2			
	小児外科	19	2.95	.705	2	4			小児外科	19	2.11	.459	1	3			
	整形外科	9	3.00	.500	2	4			整形外科	9	2.11	.601	1	3			
	心臓外科	10	2.80	.789	2	4			心臓外科	10	1.70	.483	1	2			
	眼科	5	3.00	1.000	2	4			眼科	5	2.20	.447	2	3			
	耳鼻咽喉科	4	3.50	.577	3	4			耳鼻咽喉科	4	2.00	.816	1	3			
	脳神経外科	8	2.88	.641	2	4			脳神経外科	8	1.88	.641	1	3			
	形成外科	5	3.40	.548	3	4			形成外科	5	2.40	.894	1	3			
	歯科	2	2.50	.707	2	3			歯科	2	2.00	.000	2	2			
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.00	.816	1	3			
無回答	6	2.67	.516	2	3		無回答	6	1.67	.516	1	2					
b16 小児治療は責任が重大であり負担である	小児内科	433	2.82	.615	1	4		b22 小児治療の参加について患児の理解と同意を得ることができない	小児内科	431	2.36	.631	1	4			
	神経内科	19	2.84	.688	2	4			神経内科	19	2.16	.765	1	4			
	循環器科	33	2.67	.692	1	4			循環器科	33	2.15	.566	1	4			
	麻酔科	16	2.88	.719	2	4			麻酔科	15	2.40	.507	2	3			
	血液・腫瘍科	62	2.79	.681	2	4			血液・腫瘍科	62	2.24	.670	1	4			
	未熟児・新生児科	70	2.89	.692	1	4			未熟児・新生児科	71	2.56	.890	1	4			
	腎臓・泌尿器科	35	2.86	.772	2	4			腎臓・泌尿器科	35	2.46	.741	1	4			
	精神・心療内科	12	2.75	.622	2	4			精神・心療内科	12	2.33	.778	1	4			
	内分泌・代謝科	10	2.80	.632	2	4			内分泌・代謝科	9	2.33	.866	1	4			
	アレルギー・感染症科	17	2.88	.697	2	4			アレルギー・感染症科	17	2.18	.636	1	3			
	産婦人科	2	2.00	.000	2	2			産婦人科	2	2.50	.707	2	3			
	小児外科	19	2.79	.535	2	4			小児外科	19	2.58	.838	2	4			
	整形外科	9	3.11	.333	3	4			整形外科	9	2.56	.527	2	3			
	心臓外科	10	2.10	.568	1	3			心臓外科	10	2.50	.850	2	4			
	眼科	5	3.20	.447	3	4			眼科	5	2.80	.837	2	4			
	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4			耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4			
	脳神経外科	7	2.57	.787	2	4			脳神経外科	7	2.14	.378	2	3			
	形成外科	5	3.00	.707	2	4			形成外科	5	2.80	.837	2	4			
	歯科	2	2.00	.000	2	2			歯科	2	3.00	.000	3	3			
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3			
無回答	6	2.33	.816	1	3		無回答	5	2.60	.548	2	3					
b18 小児治療について保護者へ説明することが難しい	小児内科	435	2.82	.685	1	4		b24 小児治療に関する作業内容がわからない	小児内科	434	2.40	.677	1	4			
	神経内科	19	2.47	.841	1	4			神経内科	19	2.37	.761	1	4			
	循環器科	33	2.79	.857	1	4			循環器科	33	2.33	.736	1	4			
	麻酔科	16	2.88	.619	2	4			麻酔科	16	2.56	.629	1	3			
	血液・腫瘍科	62	2.60	.639	2	4			血液・腫瘍科	62	2.19	.568	1	4			
	未熟児・新生児科	70	2.96	.731	1	4			未熟児・新生児科	70	2.43	.714	1	4			
	腎臓・泌尿器科	35	2.86	.692	2	4			腎臓・泌尿器科	34	2.44	.613	1	3			
	精神・心療内科	12	2.92	.669	2	4			精神・心療内科	12	2.50	.522	2	3			
	内分泌・代謝科	10	2.70	.823	1	4			内分泌・代謝科	10	2.00	.471	1	3			
	アレルギー・感染症科	17	3.06	.659	2	4			アレルギー・感染症科	17	1.82	.809	1	3			
	産婦人科	2	2.00	.000	2	2			産婦人科	2	1.50	.707	1	2			
	小児外科	19	2.84	.688	2	4			小児外科	19	2.58	.692	1	4			
	整形外科	9	3.11	.333	3	4			整形外科	9	2.44	.527	2	3			
	心臓外科	10	2.30	.675	1	3			心臓外科	10	2.50	.707	2	4			
	眼科	5	3.40	.894	2	4			眼科	5	2.60	.548	2	3			
	耳鼻咽喉科	4	2.75	.957	2	4			耳鼻咽喉科	4	2.25	.500	2	3			
	脳神経外科	7	3.00	.577	2	4			脳神経外科	7	2.57	.535	2	3			
	形成外科	5	3.60	.548	3	4			形成外科	5	3.00	.707	2	4			
	歯科	2	2.00	.000	2	2			歯科	2	3.00	.000	3	3			
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.25	.500	2	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.50	.577	2	3			
無回答	6	2.50	.548	2	3		無回答	6	2.00	.632	1	3					

属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値	属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
b26 小児治療の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	小児内科	435	2.31	.577	1	4		b32 小児治療の実施について詳細を知る機会がない	小児内科	434	2.58	.634	1	4	
	神経内科	19	2.21	.631	1	4			神経内科	19	2.26	.733	1	4	
	循環器科	33	2.21	.600	1	3			循環器科	33	2.70	.585	1	4	
	麻酔科	15	2.33	.488	2	3			麻酔科	15	2.93	.594	2	4	
	血液・腫瘍科	62	2.19	.538	1	4			血液・腫瘍科	62	2.55	.670	1	4	
	未熟児・新生児科	71	2.38	.799	1	4			未熟児・新生児科	71	2.82	.661	2	4	
	腎臓・泌尿器科	34	2.26	.618	1	4			腎臓・泌尿器科	35	2.63	.690	1	4	
	精神・心療内科	12	2.17	.577	1	3			精神・心療内科	12	2.67	.492	2	3	
	内分泌・代謝科	10	2.40	.843	1	4			内分泌・代謝科	10	2.30	.675	1	3	
	アレルギー・感染症科	17	1.94	.748	1	3			アレルギー・感染症科	17	2.00	.707	1	3	
	産婦人科	2	2.00	.000	2	2			産婦人科	2	2.50	.707	2	3	
	小児外科	19	2.37	.496	2	3			小児外科	19	2.84	.501	2	4	
	整形外科	9	2.67	.500	2	3			整形外科	8	2.88	.354	2	3	
	心臓外科	10	2.50	.707	2	4			心臓外科	10	2.50	.707	1	3	
	眼科	5	2.20	.447	2	3			眼科	4	3.00	.000	3	3	
	耳鼻咽喉科	4	2.25	.500	2	3			耳鼻咽喉科	4	2.75	.957	2	4	
	脳神経外科	7	2.29	.756	1	3			脳神経外科	8	2.75	.463	2	3	
	形成外科	5	2.40	.548	2	3			形成外科	5	3.20	.447	3	4	
	歯科	2	2.50	.707	2	3			歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3	
無回答	6	2.33	.516	2	3		無回答	6	2.50	.548	2	3			
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	小児内科	434	2.76	.613	1	4		b34 小児治療の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	小児内科	429	2.23	.570	1	4	
	神経内科	19	2.37	.496	2	3			神経内科	19	2.00	.577	1	3	
	循環器科	33	2.70	.585	1	4			循環器科	33	2.21	.545	1	3	
	麻酔科	16	2.94	.443	2	4			麻酔科	15	2.40	.507	2	3	
	血液・腫瘍科	62	2.56	.617	2	4			血液・腫瘍科	62	2.05	.493	1	4	
	未熟児・新生児科	71	2.82	.661	1	4			未熟児・新生児科	71	2.25	.691	1	4	
	腎臓・泌尿器科	35	2.71	.667	1	4			腎臓・泌尿器科	35	2.20	.531	1	3	
	精神・心療内科	12	2.75	.452	2	3			精神・心療内科	12	2.08	.515	1	3	
	内分泌・代謝科	10	2.40	.699	1	3			内分泌・代謝科	10	2.10	.568	1	3	
	アレルギー・感染症科	17	2.29	.686	1	3			アレルギー・感染症科	16	1.88	.619	1	3	
	産婦人科	2	2.50	.707	2	3			産婦人科	2	2.00	.000	2	2	
	小児外科	19	3.00	.333	2	4			小児外科	19	2.47	.612	2	4	
	整形外科	9	3.33	.500	3	4			整形外科	9	2.67	.500	2	3	
	心臓外科	10	2.50	.527	2	3			心臓外科	10	2.10	.568	1	3	
	眼科	5	3.20	.447	3	4			眼科	5	2.20	.447	2	3	
	耳鼻咽喉科	4	2.25	.957	1	3			耳鼻咽喉科	4	2.00	.816	1	3	
	脳神経外科	8	2.63	.518	2	3			脳神経外科	7	2.43	.535	2	3	
	形成外科	5	3.40	.548	3	4			形成外科	5	2.40	.548	2	3	
	歯科	2	3.00	.000	3	3			歯科	2	2.00	.000	2	2	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.25	.500	2	3	
無回答	6	2.83	.408	2	3		無回答	6	2.17	.408	2	3			
b30 小児治療の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	小児内科	431	2.15	.557	1	4		b36 子どもを対象として治療を行うことがためらわれる	小児内科	434	2.10	.549	1	4	
	神経内科	19	1.95	.524	1	3			神経内科	19	1.95	.524	1	3	
	循環器科	33	2.15	.508	1	3			循環器科	33	2.03	.394	1	3	
	麻酔科	15	2.20	.561	1	3			麻酔科	15	2.00	.378	1	3	
	血液・腫瘍科	62	2.11	.483	1	3			血液・腫瘍科	62	1.92	.522	1	4	
	未熟児・新生児科	71	2.14	.593	1	4			未熟児・新生児科	71	2.14	.761	1	4	
	腎臓・泌尿器科	35	1.97	.618	1	4			腎臓・泌尿器科	35	1.89	.718	1	3	
	精神・心療内科	12	2.25	.452	2	3			精神・心療内科	12	2.25	.452	2	3	
	内分泌・代謝科	10	1.90	.316	1	2			内分泌・代謝科	9	1.78	.667	1	3	
	アレルギー・感染症科	17	1.82	.529	1	3			アレルギー・感染症科	17	1.71	.470	1	2	
	産婦人科	2	2.00	.000	2	2			産婦人科	2	2.00	.000	2	2	
	小児外科	19	2.21	.535	1	3			小児外科	19	2.21	.535	1	3	
	整形外科	9	2.44	.527	2	3			整形外科	9	2.56	.527	2	3	
	心臓外科	10	2.00	.471	1	3			心臓外科	10	2.00	.471	1	3	
	眼科	4	2.75	.957	2	4			眼科	5	3.00	.000	3	3	
	耳鼻咽喉科	4	2.00	.816	1	3			耳鼻咽喉科	4	2.00	.816	1	3	
	脳神経外科	6	2.17	.753	1	3			脳神経外科	7	2.43	.535	2	3	
	形成外科	5	2.60	.894	2	4			形成外科	5	2.40	.548	2	3	
	歯科	2	2.00	.000	2	2			歯科	2	2.00	.000	2	2	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.25	.500	2	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.25	.500	2	3	
無回答	6	2.00	.000	2	2		無回答	6	2.00	.000	2	2			

属性		度数	平均値	標準差	最小値	最大値	最頻値	属性		度数	平均値	標準差	最小値	最大値	最頻値
b38 小児治療に参加しようとする児童や保護者は少ない	小児内科	432	2.51	.639	1	4		b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	小児内科	426	2.55	.605	1	4	
	神経内科	19	2.16	.602	1	3			神経内科	18	2.44	.616	1	3	
	循環器科	33	2.55	.711	2	4			循環器科	33	2.52	.667	1	4	
	麻酔科	16	2.63	.719	2	4			麻酔科	15	2.67	.488	2	3	
	血液・腫瘍科	63	2.33	.741	1	4			血液・腫瘍科	62	2.35	.603	1	4	
	未熟児・新生児科	71	2.51	.754	1	4			未熟児・新生児科	71	2.63	.741	1	4	
	腎臓・泌尿器科	35	2.43	.608	1	4			腎臓・泌尿器科	35	2.49	.658	2	4	
	精神・心療内科	12	2.83	.577	2	4			精神・心療内科	12	2.83	.389	2	3	
	内分泌・代謝科	10	2.50	.850	2	4			内分泌・代謝科	10	2.50	.527	2	3	
	アレルギー・感染症科	17	2.65	.702	1	4			アレルギー・感染症科	17	2.41	.618	1	3	
	産婦人科	2	2.50	.707	2	3			産婦人科	2	2.00	1.414	1	3	
	小児外科	19	2.68	.671	2	4			小児外科	19	2.53	.513	2	3	
	整形外科	8	2.38	.744	1	3			整形外科	9	2.89	.601	2	4	
	心臓外科	10	2.30	.675	1	3			心臓外科	10	2.40	.699	1	3	
	眼科	5	3.20	.837	2	4			眼科	5	2.80	.447	2	3	
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4			耳鼻咽喉科	4	2.75	.500	2	3	
	脳神経外科	7	2.14	.690	1	3			脳神経外科	7	2.57	.535	2	3	
形成外科	5	3.00	.707	2	4		形成外科	5	2.20	.837	1	3			
歯科	2	2.00	.000	2	2		歯科	2	2.00	1.414	1	3			
呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.25	.500	2	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3			
無回答	6	2.67	.516	2	3		無回答	6	2.33	.516	2	3			

c 課題要因

		属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値			属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
c41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	小児内科	小児内科	433	3.01	.461	1	4		c44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児内科	435	3.39	.511	1	4		
	神経内科	神経内科	19	3.11	.315	3	4			神経内科	19	3.53	.513	3	4		
	循環器科	循環器科	32	2.81	.397	2	3			循環器科	33	3.33	.540	2	4		
	麻酔科	麻酔科	16	3.00	.000	3	3			麻酔科	16	3.44	.512	3	4		
	血液・腫瘍科	血液・腫瘍科	63	3.10	.499	2	4			血液・腫瘍科	63	3.41	.528	2	4		
	未熟児・新生児科	未熟児・新生児科	71	3.10	.565	2	4			未熟児・新生児科	71	3.48	.531	2	4		
	腎臓・泌尿器科	腎臓・泌尿器科	35	3.09	.612	2	4			腎臓・泌尿器科	35	3.51	.507	3	4		
	精神・心療内科	精神・心療内科	12	3.00	.000	3	3			精神・心療内科	12	3.50	.522	3	4		
	内分泌・代謝科	内分泌・代謝科	10	3.00	.667	2	4			内分泌・代謝科	10	3.10	.568	2	4		
	アレルギー・感染症科	アレルギー・感染症科	17	2.82	.393	2	3			アレルギー・感染症科	17	3.35	.493	3	4		
	産婦人科	産婦人科	2	3.00	.000	3	3			産婦人科	2	3.00	.000	3	3		
	小児外科	小児外科	19	2.84	.602	2	4			小児外科	19	3.21	.419	3	4		
	整形外科	整形外科	8	2.75	.463	2	3			整形外科	9	3.22	.441	3	4		
	心臓外科	心臓外科	10	2.80	.632	2	4			心臓外科	10	3.10	.316	3	4		
	眼科	眼科	5	2.80	.447	2	3			眼科	5	3.00	.000	3	3		
	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	4	3.00	.000	3	3			耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4		
	脳神経外科	脳神経外科	8	3.00	.000	3	3			脳神経外科	8	3.38	.518	3	4		
	形成外科	形成外科	5	3.40	.548	3	4			形成外科	5	3.40	.894	2	4		
	歯科	歯科	2	3.00	.000	3	3			歯科	2	3.50	.707	3	4		
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3		
無回答	無回答	6	2.83	.408	2	3		無回答	6	3.17	.408	3	4				
c42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	小児内科	小児内科	436	3.35	.486	2	4		c45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	小児内科	435	3.08	.550	1	4		
	神経内科	神経内科	19	3.58	.507	3	4			神経内科	19	3.53	.513	3	4		
	循環器科	循環器科	33	3.42	.502	3	4			循環器科	32	2.94	.619	1	4		
	麻酔科	麻酔科	16	3.31	.479	3	4			麻酔科	16	3.06	.443	2	4		
	血液・腫瘍科	血液・腫瘍科	63	3.43	.588	1	4			血液・腫瘍科	62	3.05	.526	2	4		
	未熟児・新生児科	未熟児・新生児科	71	3.49	.557	2	4			未熟児・新生児科	71	3.08	.649	2	4		
	腎臓・泌尿器科	腎臓・泌尿器科	35	3.51	.507	3	4			腎臓・泌尿器科	35	3.09	.658	2	4		
	精神・心療内科	精神・心療内科	12	3.33	.492	3	4			精神・心療内科	12	3.17	.389	3	4		
	内分泌・代謝科	内分泌・代謝科	10	3.30	.675	2	4			内分泌・代謝科	10	3.20	.632	2	4		
	アレルギー・感染症科	アレルギー・感染症科	17	3.12	.332	3	4			アレルギー・感染症科	17	2.94	.748	1	4		
	産婦人科	産婦人科	2	3.00	.000	3	3			産婦人科	2	3.00	.000	3	3		
	小児外科	小児外科	19	3.26	.452	3	4			小児外科	19	2.95	.705	1	4		
	整形外科	整形外科	9	3.33	.500	3	4			整形外科	9	3.00	.500	2	4		
	心臓外科	心臓外科	10	3.10	.316	3	4			心臓外科	10	3.10	.316	3	4		
	眼科	眼科	5	3.60	.548	3	4			眼科	5	3.00	.000	3	3		
	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	4	3.00	.000	3	3			耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4		
	脳神経外科	脳神経外科	8	3.50	.535	3	4			脳神経外科	7	2.57	.787	2	4		
	形成外科	形成外科	5	3.80	.447	3	4			形成外科	5	3.00	.707	2	4		
	歯科	歯科	2	3.00	.000	3	3			歯科	2	3.00	.000	3	3		
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3		
無回答	無回答	6	3.67	.516	3	4		無回答	6	3.17	.408	3	4				
c43 専門性の高い小児治療コーディネーターを育成する必要がある	小児内科	小児内科	435	3.33	.531	1	4		c46 「実験台にされる」という小児治療に対する被害的なイメージを減らしていく必要がある	小児内科	436	3.24	.533	1	4		
	神経内科	神経内科	19	3.58	.507	3	4			神経内科	19	3.21	.631	2	4		
	循環器科	循環器科	33	3.27	.626	2	4			循環器科	33	3.12	.600	2	4		
	麻酔科	麻酔科	15	3.27	.458	3	4			麻酔科	16	3.31	.479	3	4		
	血液・腫瘍科	血液・腫瘍科	63	3.51	.535	2	4			血液・腫瘍科	63	3.33	.648	1	4		
	未熟児・新生児科	未熟児・新生児科	71	3.45	.604	1	4			未熟児・新生児科	71	3.34	.608	2	4		
	腎臓・泌尿器科	腎臓・泌尿器科	35	3.54	.505	3	4			腎臓・泌尿器科	35	3.43	.502	3	4		
	精神・心療内科	精神・心療内科	12	3.50	.522	3	4			精神・心療内科	12	3.33	.651	2	4		
	内分泌・代謝科	内分泌・代謝科	10	3.30	.483	3	4			内分泌・代謝科	10	3.40	.516	3	4		
	アレルギー・感染症科	アレルギー・感染症科	17	3.47	.514	3	4			アレルギー・感染症科	17	3.41	.618	2	4		
	産婦人科	産婦人科	2	3.50	.707	3	4			産婦人科	2	3.00	.000	3	3		
	小児外科	小児外科	19	3.26	.452	3	4			小児外科	19	3.11	.459	2	4		
	整形外科	整形外科	9	3.22	.441	3	4			整形外科	9	3.44	.527	3	4		
	心臓外科	心臓外科	10	3.10	.316	3	4			心臓外科	10	3.10	.316	3	4		
	眼科	眼科	5	3.40	.548	3	4			眼科	5	3.00	.707	2	4		
	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	4	3.00	.000	3	3			耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4		
	脳神経外科	脳神経外科	8	2.88	.354	2	3			脳神経外科	8	3.25	.463	3	4		
	形成外科	形成外科	5	3.20	.837	2	4			形成外科	5	3.20	.447	3	4		
	歯科	歯科	2	3.50	.707	3	4			歯科	2	3.00	.000	3	3		
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4			呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4		
無回答	無回答	6	3.50	.548	3	4		無回答	6	3.33	.516	3	4				

属性		度数	平均値	偏差標準	最小値	最大値	属性		度数	平均値	偏差標準	最小値	最大値	五 位 値
c47 小児治療への認識を高めるために情報公開をする必要がある	小児内科	436	3.31	491	1	4	c50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	小児内科	428	3.09	549	1	4	
	神経内科	19	3.32	671	2	4		神経内科	19	3.26	452	3	4	
	循環器科	33	3.24	502	2	4		循環器科	32	3.09	530	2	4	
	麻酔科	16	3.31	602	2	4		麻酔科	15	2.73	458	2	3	
	血液・腫瘍科	63	3.40	583	2	4		血液・腫瘍科	62	3.16	549	2	4	
	未熟児・新生児科	70	3.39	546	2	4		未熟児・新生児科	70	3.20	580	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.37	547	2	4		腎臓・泌尿器科	34	3.12	591	2	4	
	精神・心療内科	12	3.42	515	3	4		精神・心療内科	12	3.42	515	3	4	
	内分泌・代謝科	10	3.20	632	2	4		内分泌・代謝科	9	2.67	707	2	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.24	437	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.06	659	2	4	
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3	
	小児外科	19	3.16	501	2	4		小児外科	19	3.00	333	2	4	
	整形外科	9	3.11	601	2	4		整形外科	9	3.00	500	2	4	
	心臓外科	10	3.00	667	2	4		心臓外科	10	3.00	667	2	4	
	眼科	5	3.00	707	2	4		眼科	5	3.20	447	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4	
	脳神経外科	8	3.25	463	3	4		脳神経外科	7	2.71	488	2	3	
	形成外科	5	3.40	548	3	4		形成外科	5	3.20	447	3	4	
	歯科	2	3.00	000	3	3		歯科	2	3.00	000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	000	3	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	000	3	3	
無回答	6	3.17	408	3	4	無回答	6	2.83	408	2	3			
c48 小児治療への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児内科	435	3.16	529	1	4	c51 行政的な小児治療支援システムが構築される必要がある	小児内科	432	3.32	515	2	4	
	神経内科	19	3.16	501	2	4		神経内科	19	3.42	507	3	4	
	循環器科	33	3.06	496	2	4		循環器科	33	3.33	479	3	4	
	麻酔科	15	3.00	535	2	4		麻酔科	15	3.20	561	2	4	
	血液・腫瘍科	62	3.32	536	2	4		血液・腫瘍科	62	3.52	620	1	4	
	未熟児・新生児科	71	3.27	654	1	4		未熟児・新生児科	71	3.38	570	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.14	648	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.46	561	2	4	
	精神・心療内科	11	3.27	467	3	4		精神・心療内科	12	3.33	492	3	4	
	内分泌・代謝科	10	3.10	876	1	4		内分泌・代謝科	10	3.20	632	2	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.06	659	2	4		アレルギー・感染症科	17	3.24	437	3	4	
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3	
	小児外科	19	3.00	333	2	4		小児外科	19	3.21	419	3	4	
	整形外科	9	2.89	601	2	4		整形外科	9	3.11	333	3	4	
	心臓外科	10	2.90	568	2	4		心臓外科	10	3.30	483	3	4	
	眼科	5	3.20	447	3	4		眼科	5	3.20	447	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	816	2	4	
	脳神経外科	8	2.75	463	2	3		脳神経外科	8	3.00	535	2	4	
	形成外科	5	3.20	447	3	4		形成外科	5	3.60	548	3	4	
	歯科	2	3.00	000	3	3		歯科	2	3.50	707	3	4	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	000	3	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	816	2	4	
無回答	6	3.00	000	3	3	無回答	5	3.20	447	3	4			
c49 の現状について社会全体に啓発していく必要がある	小児内科	436	3.40	517	2	4	c52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児内科	435	3.42	521	1	4	
	神経内科	19	3.47	513	3	4		神経内科	19	3.58	507	3	4	
	循環器科	33	3.39	556	2	4		循環器科	32	3.31	535	2	4	
	麻酔科	15	3.47	516	3	4		麻酔科	16	3.56	512	3	4	
	血液・腫瘍科	63	3.54	502	3	4		血液・腫瘍科	63	3.51	504	3	4	
	未熟児・新生児科	71	3.45	555	2	4		未熟児・新生児科	71	3.41	550	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.57	502	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.51	507	3	4	
	精神・心療内科	12	3.42	515	3	4		精神・心療内科	12	3.50	522	3	4	
	内分泌・代謝科	10	3.30	675	2	4		内分泌・代謝科	10	3.30	483	3	4	
	アレルギー・感染症科	16	3.50	516	3	4		アレルギー・感染症科	16	3.38	500	3	4	
	産婦人科	2	3.00	000	3	3		産婦人科	2	3.00	000	3	3	
	小児外科	19	3.11	459	2	4		小児外科	19	3.37	496	3	4	
	整形外科	9	3.56	527	3	4		整形外科	9	3.22	441	3	4	
	心臓外科	10	3.20	422	3	4		心臓外科	10	3.20	422	3	4	
	眼科	5	3.20	447	3	4		眼科	5	3.40	548	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	3.25	500	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.50	577	3	4	
	脳神経外科	8	3.25	463	3	4		脳神経外科	8	3.38	518	3	4	
	形成外科	5	3.20	447	3	4		形成外科	5	3.80	447	3	4	
	歯科	2	3.50	707	3	4		歯科	2	3.50	707	3	4	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	000	3	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	500	2	3	
無回答	6	3.33	516	3	4	無回答	6	3.00	000	3	3			

設問項目	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値	設問項目	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値					
c53 有害事象発生時の支援体制があると良い	小児内科	435	3.45	.512	2	4	c56 患児自身に利益があるかを考える必要がある	小児内科	432	3.29	.592	2	4	c57 小児治療の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	小児内科	435	3.38	.504	2	4
	神経内科	19	3.63	.496	3	4		神経内科	19	3.37	.496	3	4		神経内科	19	3.58	.507	3	4
	循環器科	33	3.45	.564	2	4		循環器科	33	3.18	.528	2	4		循環器科	33	3.30	.585	2	4
	麻酔科	15	3.40	.507	3	4		麻酔科	16	3.31	.479	3	4		麻酔科	16	3.19	.544	2	4
	血液・腫瘍科	63	3.59	.496	3	4		血液・腫瘍科	63	3.35	.544	2	4		血液・腫瘍科	62	3.47	.535	2	4
	未熟児・新生児科	71	3.51	.557	2	4		未熟児・新生児科	71	3.39	.621	2	4		未熟児・新生児科	71	3.45	.555	2	4
	腎臓・泌尿器科	35	3.66	.482	3	4		腎臓・泌尿器科	35	3.46	.611	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.54	.505	3	4
	精神・心療内科	12	3.50	.522	3	4		精神・心療内科	11	3.18	.405	3	4		精神・心療内科	12	3.42	.515	3	4
	内分泌・代謝科	10	3.40	.516	3	4		内分泌・代謝科	10	2.80	.632	2	4		内分泌・代謝科	10	3.30	.675	2	4
	アレルギー・感染症科	17	3.29	.470	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.12	.600	2	4		アレルギー・感染症科	17	3.47	.514	3	4
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3		産婦人科	2	3.00	.000	3	3		産婦人科	2	3.00	.000	3	3
	小児外科	19	3.37	.496	3	4		小児外科	19	3.11	.459	2	4		小児外科	19	3.21	.419	3	4
	整形外科	9	3.33	.500	3	4		整形外科	9	3.11	.333	3	4		整形外科	9	3.11	.601	2	4
	心臓外科	10	3.20	.422	3	4		心臓外科	10	3.00	.471	2	4		心臓外科	10	3.40	.516	3	4
	眼科	5	3.60	.548	3	4		眼科	5	3.20	.447	3	4		眼科	5	3.00	.000	3	3
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.000	3	3		耳鼻咽喉科	4	3.50	.577	3	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4
	脳神経外科	8	3.38	.518	3	4		脳神経外科	8	3.00	.535	2	4		脳神経外科	8	3.13	.354	3	4
	形成外科	5	4.00	.000	4	4		形成外科	5	3.80	.447	3	4		形成外科	5	3.20	.447	3	4
	歯科	2	3.00	.000	3	3		歯科	2	4.00	.000	4	4		歯科	2	3.00	.000	3	3
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.816	2	4		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3
無回答	6	3.50	.548	3	4	無回答	6	3.00	.000	3	3	無回答	6	3.33	.516	3	4			
c54 小児治療コーディネーターが病院内に常駐できると良い	小児内科	433	3.28	.623	1	4	c58 小児治療に精通した医師を養成する必要がある	小児内科	436	3.19	.564	1	4							
	神経内科	19	3.53	.612	2	4		神経内科	19	3.37	.684	2	4	神経内科	19	3.37	.684	2	4	
	循環器科	33	3.06	.704	1	4		循環器科	33	3.12	.545	2	4	循環器科	33	3.12	.545	2	4	
	麻酔科	15	2.93	.704	2	4		麻酔科	15	2.80	.775	1	4	麻酔科	15	2.80	.775	1	4	
	血液・腫瘍科	62	3.56	.590	2	4		血液・腫瘍科	62	3.34	.599	2	4	血液・腫瘍科	62	3.34	.599	2	4	
	未熟児・新生児科	71	3.39	.727	1	4		未熟児・新生児科	71	3.34	.631	2	4	未熟児・新生児科	71	3.34	.631	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.49	.562	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.26	.505	2	4	腎臓・泌尿器科	35	3.26	.505	2	4	
	精神・心療内科	12	3.42	.515	3	4		精神・心療内科	12	3.25	.622	2	4	精神・心療内科	12	3.25	.622	2	4	
	内分泌・代謝科	10	3.20	.632	2	4		内分泌・代謝科	10	3.20	.422	3	4	内分泌・代謝科	10	3.20	.422	3	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.47	.514	3	4		アレルギー・感染症科	17	3.24	.437	3	4	アレルギー・感染症科	17	3.24	.437	3	4	
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3		産婦人科	2	3.00	.000	3	3	産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	3.26	.562	2	4		小児外科	19	3.21	.419	3	4	小児外科	19	2.89	.567	2	4	
	整形外科	9	2.89	.601	2	4		整形外科	9	3.11	.601	2	4	整形外科	9	2.78	.667	2	4	
	心臓外科	10	3.00	.943	1	4		心臓外科	10	3.40	.516	3	4	心臓外科	10	3.20	.632	2	4	
	眼科	5	2.80	.837	2	4		眼科	5	3.00	.000	3	3	眼科	5	2.80	.447	2	3	
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4		耳鼻咽喉科	4	3.00	.816	2	4	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4	
	脳神経外科	8	2.88	.641	2	4		脳神経外科	8	3.13	.354	3	4	脳神経外科	8	2.88	.354	2	3	
	形成外科	5	2.60	.894	2	4		形成外科	5	3.20	.447	3	4	形成外科	5	3.20	.837	2	4	
	歯科	2	3.00	.000	3	3		歯科	2	3.00	.000	3	3	歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.25	.500	3	4		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3	
無回答	6	3.17	.753	2	4	無回答	6	3.33	.516	3	4	無回答	6	3.17	.408	3	4			
c55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	小児内科	433	3.24	.542	2	4	c58 小児治療に精通した医師を養成する必要がある	小児内科	436	3.19	.564	1	4							
	神経内科	19	3.26	.452	3	4		神経内科	19	3.37	.684	2	4	神経内科	19	3.37	.684	2	4	
	循環器科	32	2.97	.474	2	4		循環器科	33	3.12	.545	2	4	循環器科	33	3.12	.545	2	4	
	麻酔科	16	2.75	.683	2	4		麻酔科	15	2.80	.775	1	4	麻酔科	15	2.80	.775	1	4	
	血液・腫瘍科	62	3.37	.520	2	4		血液・腫瘍科	62	3.34	.599	2	4	血液・腫瘍科	62	3.34	.599	2	4	
	未熟児・新生児科	70	3.27	.679	1	4		未熟児・新生児科	71	3.34	.631	2	4	未熟児・新生児科	71	3.34	.631	2	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.14	.692	2	4		腎臓・泌尿器科	35	3.26	.505	2	4	腎臓・泌尿器科	35	3.26	.505	2	4	
	精神・心療内科	12	3.08	.289	3	4		精神・心療内科	12	3.25	.622	2	4	精神・心療内科	12	3.25	.622	2	4	
	内分泌・代謝科	10	2.90	.568	2	4		内分泌・代謝科	10	3.20	.422	3	4	内分泌・代謝科	10	3.20	.422	3	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.12	.781	1	4		アレルギー・感染症科	17	3.24	.437	3	4	アレルギー・感染症科	17	3.24	.437	3	4	
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3		産婦人科	2	3.00	.000	3	3	産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	2.84	.501	2	4		小児外科	19	2.89	.567	2	4	小児外科	19	2.89	.567	2	4	
	整形外科	9	3.11	.782	2	4		整形外科	9	3.11	.601	2	4	整形外科	9	2.78	.667	2	4	
	心臓外科	10	2.80	.789	1	4		心臓外科	10	3.20	.632	2	4	心臓外科	10	3.20	.632	2	4	
	眼科	5	2.60	.548	2	3		眼科	5	2.80	.447	2	3	眼科	5	2.80	.447	2	3	
	耳鼻咽喉科	4	3.00	.000	3	3		耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4	耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4	
	脳神経外科	8	3.00	.535	2	4		脳神経外科	8	2.88	.354	2	3	脳神経外科	8	2.88	.354	2	3	
	形成外科	5	3.60	.548	3	4		形成外科	5	3.20	.837	2	4	形成外科	5	3.20	.837	2	4	
	歯科	2	3.50	.707	3	4		歯科	2	3.00	.000	3	3	歯科	2	3.00	.000	3	3	
	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3	呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	2.75	.500	2	3	
無回答	6	3.00	.632	2	4	無回答	6	3.17	.408	3	4	無回答	6	3.17	.408	3	4			

属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値	属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
c59 小児治療への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児内科	434	3.12	.549	1	4		c60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	小児内科	429	3.20	.477	2	4	
	神経内科	19	3.16	.501	2	4			神経内科	19	3.47	.513	3	4	
	循環器科	33	2.97	.585	1	4			循環器科	31	3.06	.629	2	4	
	麻酔科	16	2.94	.443	2	4			麻酔科	16	3.13	.619	2	4	
	血液・腫瘍科	61	3.31	.593	2	4			血液・腫瘍科	62	3.29	.555	2	4	
	未熟児・新生児科	71	3.28	.590	1	4			未熟児・新生児科	70	3.23	.594	1	4	
	腎臓・泌尿器科	35	3.09	.562	2	4			腎臓・泌尿器科	34	3.35	.485	3	4	
	精神・心療内科	11	3.18	.603	2	4			精神・心療内科	12	3.08	.515	2	4	
	内分泌・代謝科	10	3.00	.816	1	4			内分泌・代謝科	9	3.00	.707	2	4	
	アレルギー・感染症科	17	3.12	.332	3	4			アレルギー・感染症科	17	3.29	.588	2	4	
	産婦人科	2	3.00	.000	3	3			産婦人科	2	3.00	.000	3	3	
	小児外科	19	2.95	.229	2	3			小児外科	19	3.16	.375	3	4	
	整形外科	9	2.89	.333	2	3			整形外科	9	3.11	.333	3	4	
	心臓外科	10	3.00	.471	2	4			心臓外科	10	3.20	.632	2	4	
	眼科	5	2.80	.447	2	3			眼科	5	3.20	.447	3	4	
	耳鼻咽喉科	4	2.75	.500	2	3			耳鼻咽喉科	4	3.25	.500	3	4	
	脳神経外科	8	2.88	.354	2	3			脳神経外科	8	3.00	.535	2	4	
形成外科	5	3.40	.548	3	4		形成外科	5	3.40	.548	3	4			
歯科	2	3.00	.000	3	3		歯科	2	3.00	.000	3	3			
呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3		呼吸器・消化器・皮膚・その他	4	3.00	.000	3	3			
無回答	6	3.00	.000	3	3		無回答	6	3.17	.408	3	4			